

# 北海道福音伝道会・北海道聖書学院

# 通信

**立場** 聖書信仰・福音主義・超教派 **実践** 信仰・従順・聖潔  
**モットー**「キリストを知り、教会に、世界に、時代に仕える」

学生募集号

HPアドレス <http://www.hbi-wmc.org>

郵便振替口座：02720-9-19238



## 「与えられた召しに 応えるために」

白山めぐみキリスト教会  
牧師 **廣岡 拓朗**

北海道聖書学院卒業生の廣岡拓朗と申します。現在、石川県の白山めぐみキリスト教会で牧師をしています。私自身の経験を振り返りつつ学院の紹介をさせていただきます。本科生、短期信徒コース、聴講を検討している方々の一助となればうれしいです。その他の方々にも、学院のことを知っていただいたり、祈り支えていただくきっかけとなれば有り難いです。

### 1、召しを受けて

「平安があながたにあるように。父がわたしを遣わされたように、わたしもあながたを遣わします」(ヨハネ20:21)。

「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16:15)。

これらのみことばによって主の召しを受けたのは、今から11年ほど前のことです。自分にとって驚きと不思議、喜びと畏れを伴う経験でした。一方で、自分の勝手な思い込みだったらどうしようという気持ちもありましたので、まずは妻に、次に所属教会の牧師に相談し、さらに北海道聖書学院の学院長であった八尋勝先生ともお話しをさせていただきました。

そうして召しを確認しながら具体的な準備に入っていく、2012年4月北海道聖書学院に入学しました。

### 2、学院生活

#### ①授業について

入学当初は、ちゃんと学びについていけるだろうかと不安が大きかったのですが、基本的なことから教えていただきましたので助かりました。

クラスはだいたい7名ほど、多い時でも15名ほどでした。教師との距離が近く、質問や対話がしやすかったです。

聖書や神学の学びによって新たな知識を得られることは喜びでした。たとえば「組織神学」の授業では、神様とそのみわざについて体系的に理解することを学びました。自分の中でモヤモヤしていたり、バラバラに散らかっていた「神」「聖霊」

「救い」等に関する理解が少しずつ整理されていきました。神様のことを知っていくための助けとなりましたし、人に伝えるうえで役立っていきました。

「ギリシャ語」や「ヘブル語」は苦手な科目でしたが、みことばの豊かさを教えられました。たとえば、聖書によく出てくる「愛」「平和」「あわれみ」などの言葉も、原語で見るとさらに深い意味や細かいニュアンスがあるとわかり、人間に対する神様の深いご配慮を思い知ることとなりました。原語には現在も苦戦していますが、説教にしっかり役立てたいと思っています。

学びの内容だけでなく、教えてくださった教師・講師の先生方のことも思い出します。皆さん、現役の牧師、宣教師で、牧会の傍らで学院の役にしてくださっていらっしゃいました。現在も同じだと思います。本当に頭が下がります。伝道牧会の最前線で働いて

ておられる先生方の言葉には重みと説得力があります。

質問に対してもいつも丁寧に答えていただきました。そして授業でいただいた資料は今でもときどき使っています。重宝しています。

## ②学院生の交わり

寮生活、学院生同士の交わりについても触れておきます。私が在籍した3年間は、30代、40代の学生が大半だったと思います。半数以上は所帯を持っていたと思います。(ちなみに、学費も魅力的なので、家族がいる方でも比較的入学しやすいと思います。)

当時、学院生の数は毎年だいたい12名前後でした。お互いの顔が見える、ほどよい人数だったと思います。誰かが誕生日を迎えると皆でお祝いしました。ホールケーキを16等分し薄くなったケーキを食べたこともいい思い出です。家族参加の遠足、ワカサギ釣り、スキーも楽しかったです。

早天祈祷会の時間を中心に、互いのために祈り合いました。お互いの信仰のため、学びと奉仕のため、家庭のため、卒業後の導きのために。みことばと祈りのうちに神様に取り扱われていく仲間の姿を見て、とても励まされました。

また、交わりの中でこそ見えてくる自分自身の姿がありました。弱さ、足らなさ、よくない思い、なかなか克服されない罪深さ。こんな自分が牧会の現場に立ってよいのかという葛藤もありました。しかし、そこで低くされながら、イエス様の深いあわれみと赦しをさらに知っていくのでした。神様は交わりの中で気づかせ、矯正し、育ててくださると知ったことも、大切な学びであったと振り返ります。

奉仕先の教会で与えられた多くの出会いと交わりも大きな恵みでした。いずれの教会に行っても、温かく受け入れていただき、育てていただきました。今でも連絡をくださる方々がいて、とてもうれしいことです。

## ③その他

他にも、北海道聖書学院には、OMFの宣教師との交流、海外研修などがあります。これらも大変貴重な機会です。そして、寮のご飯がとってもおいしいことも忘れずに記しておきたいと思います。

## 3、召しに応じていくために

主から召しをいただいたということは、その召しに応じていく必要があるということです。それには喜びだけでなく、色々な不安も伴うかもしれません。しかし神様は、私たちが召しにふさわしく応えられるように、責任を持って支えてくださるお方です。そのために、学び・訓練・交わりの場を備えていてくださいます。北海道聖書学院もその一つです。卒業生の一人として、ぜひおすすめします。

また本科コースの他にも、一般信徒向けの短期信徒コース、聴講生の募集もあります。これらも信仰の成長に大いに役立つものです。教会の祝福にも繋がることでしょう。ぜひおすすめいたします。

皆さんの歩みのうえに、北海道聖書学院の歩みのうえに、神様の祝福がありますように。

## 神学校紹介

### 神学の学びについて

日本同盟基督教団  
苫小牧福音教会牧師

水草 修治

聖書の読み方には、部分から全体へという方向で学ぶ方法と、全体から部分へという方向で学ぶ方法があります。前者は聖書神学の方法であり、後者は組織神学の方法です。聖書を正しく理解するためには両方が必要です。

私の担当は組織神学、わかりやすく言えばテーマ別聖書研究です。神はどういうお方か？神に造

られた人間とは？罪に堕ちた人間とは？キリストは罪人のために何をしてくださったか？聖霊はどんなお方で、私たちに何をしてくださるか？教会とは何か？そして世界の終わりとはなにか？・・・とテーマ別に整理して、神学思想史を踏まえつつ考えるのが組織神学です。

HBIは少人数制なので、釈義神学の力と組織神学の力の両方をしっかり身に着けることができます。しかも、寮生活における主にある交わりと教会奉仕を通して、頭だけでなく体全体で学んだという卒業生の証を聞きます。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる』のです。しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。」(ローマ10:13,14) 主が、あなたを宣べ伝える人として召しておられるならば、ぜひ学院で共に学びましょう。

## 在校生の証し



### 素晴らしいかな 学院生活

本科2年生 渡部 和弘

「一番天国に近いところかも。」学院に入学したばかりの時に先輩に言われた言葉を思い出します。

朝の早天祈祷会から、授業、チャペルといつも、みことばを聞き、賛美し、祈っている。神を愛し人を愛する。そんなことが学びと訓練を通してできるのはHBIで神様から頂く恵みです。

礼拝とは何かを考えていく授業。今までばらばらに覚えていたことが体系的にまとまり、さらに深く神様の素晴らしさを知ることができる授業。聖書の原典を学び、そこからさらに深く聖書の深みを教えられる授業。神とは、人間とは、罪とは

ということについて教えられ、ディスカッションによって深められる授業。真実のクリスマスがどのようなものであったのか中東の視点から見ることのできる授業。聖書の人物や戦いを地図で見て平面だけでなく立体的にとらえることができる授業・・・

いつも目からウロコ。今日も目からウロコ。感動で鼻水じゅるじゅる？

また、将来の伝道者として立つべく、実践の授業も充実しています。

神様の促しがある方。この素晴らしい学院生活を共に過ごしませんか。



### 「学びの恵みの中で」

短期信徒コース生

土門 市子

北海道聖書学院に短期信徒コース生として入学し今年2年目を迎えました。短期信徒コースは基本1年間のコースなのですが、3年間の在籍が許されており、こうして兄弟姉妹たちと共に学びの場を与えられていることに感謝しています。

毎日のチャペルや授業を通して語られる1つ1つのみことばによって、自分の内面とも深く向き合わされながら神さまの深い愛を知る毎日です。

学院生活の中で、1年目の時には課題をこなすことに必死でしたが、2年目になり知識としてだけでなく、授業を通して教えて下さる諸先生のお姿そのものを通して、主に仕えるとはどういうことなのかを深く考えるようになりました。愛を以って根気よく丁寧に、これからの我々に必要なことをすべて提供して下さると共に、ある時には忍耐を以って教えて下さっているのだと感じることもあるのです。その中で、主に仕えるということを考えた時、自分の足りなさを実感するのです。しかしこの学院で与えられている訓練を通して、どのように整えられていくのか、そして私に与えられている賜物はどのようなものであるのかを、主に熱心に祈り求めていきたいと思わされています。

## 学生募集要項

### ■本科生

1. 入学資格
  - (1) 新生の経験とともに主の働きへの召命が明確である者
  - (2) 教会員として1年以上教会生活を経た、教会の推薦のある者
  - (3) 本学院の規則と精神に喜んで従う者
  - (4) 毎年、行われる入学試験（筆記・面接）に合格した者
  - (5) 外国人の方は、日本語能力試験（JLPT）でN2以上の資格を必要とする
  - (6) 外国人の方は、日本における所属教会を得ること
2. 入学願書に添付すべき書類
 

下記の書類を取り揃えて、本学院事務局に提出すること

第一期 2023年1月17日(火)まで  
第二期 2023年2月21日(火)まで

  - (1) 入学願書（本学院所定の用紙を使用すること）
  - (2) 救いの証・召命の証（それぞれ1200～2000文字）
  - (3) 受験者本人の人格、信仰、学習能力を保証する所属教会の推薦状
  - (4) 戸籍抄本
  - (5) 最終学校の成績証明書
  - (6) 健康診断書
  - (7) 受験料 10,000円

必要な用紙は本学院事務局へ、500円分の切手同封の上申し込むこと
3. 入学試験・合格発表
 

試験日：第一期 2023年1月23日(月)  
第二期 2023年2月27日(月)  
（なお試験日は、相談に応ずる）

試験科目：聖書知識・一般常識（英語・作文）・面接

試験場：北海道聖書学院  
合格発表：試験、面接の後、当日中に発表する
4. 入学手続き：合格者は、入学式当日までに次の各手続きを完了しなければならない。
  - (1) 入寮届けの提出（用紙は合格通知とともに渡す）
  - (2) 入学金納入 40,000円
5. 入学後の諸費
  - (1) 授業料（年間） 240,000円
  - (2) 寮費（年間） 180,000円
  - (3) 食費（年間） 144,000円  
（時価により変動がある）
  - (4) 海外研修積立費（年間） 84,000円
  - (5) 傷害保険料（年間） 5,000円（2022年度）  
（変わる可能性あり）
6. 本科生への経済的援助として奨学金制度、家族住宅手当の援助制度有り

### ■短期信徒コース生

「北海道聖書学院で、信徒も学べるコースがあったら！」という要望に応じて、「短期信徒コース」が設けられています。1年間で、聖書の基礎



を学び、それを自分の信仰生活に生かしていただくこと。それがこのコースの目指しているところです。

「でも1年では無理」という方も、一度登録すると、最長3年に分けて単位を修得することができます。3年以内で必修単位をすべて修得した方に、修了証書を授与します。

#### 1. 登録資格

- (1) 教会員であること
- (2) 所属教会の責任者の推薦があること
- (3) 学院の教師会の面接を受けること  
☆年齢制限はありません。学歴も問いません。  
所定の申込用紙に記入し、2023年2月14日(火)まで本学院事務局に提出してください。

#### 2. 費用

- (1) 登録費： 5,000円（入学時のみ）
- (2) 学費（年間） 180,000円  
分割払い（毎月15,000円 一学期で6万円）も可能です。特典として一年目の他の科目（特別講義も含む）を無料で聴講できます。

### ■遠隔地授業（聴講）

学院が所在する札幌より遠方に住む方が、インターネットで聴講（旧約通論、新約通論、キリスト教史、カテキズム）するための制度です。詳しくはホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

### □問い合わせ先：

北海道聖書学院

〒003-0831 札幌市白石区北郷一条3丁目1-61  
TEL 011-871-7892 FAX 011-871-7899

### □HP メールアドレス

HPアドレス <http://www.hbi-wmc.org>

Eメール [hbi@olive.plala.or.jp](mailto:hbi@olive.plala.or.jp)

### 卒業生の主な赴任先

(2022年9月現在)

教団・教派		教団・教派	
日本福音 キリスト教会連合	73	バプテスト関係 その他	4 39
日本同盟基督教団	25	海外宣教・ 海外在住	4
日本福音自由教会	6	超教派・教会協力	9
日本自由福音教会	2	召天者	12
ブレザレン	2		
メノナイト	3		